



“自分ごと”として考えよう

もっと身近に、人権のこと



戦後80年を迎え、「平和への一步」について作文にまとめました。世界では戦争や飢えに苦しむ子どもがたくさんいて、私のように毎日学校に通え、安全な家に帰れることは当たり前ではないと知りました。今の私にできることは、身近な人を大切に、意見が違う相手に対して否定せずに思いやりを持って接すること。一人ひとりの小さな心がけや行動が、やがて世界の平和につながるのではないかと思います。

淡路中学校1年 上垣 莉子さん



人権作文及び人権標語に応募いただき、優秀作品として表彰された皆さんに感想をお聞きました。



『「やめなよ」といったきみは ぼくのヒーロー』という標語を考えました。例えば、いじめの現場を見てしまっても注意するのはとても勇気があること。だけど、ちゃんと「やめなよ」と言える人はやっぱりカッコいい!そんなヒーローが増えるといいなと思いました。

いじめがなくなり、みんなが笑顔で暮らせる社会のために、困っている人がいたら迷わず助けられる人になりたいです。

淡路中学校2年 酢藤 優奈さん



「みんながいてわたしの命が あたたまる」という標語を考えました。これからも友達や自分のことを大切にしていってほしいです。

豊新小学校3年 市原 花さん



「べん強ができる大切さ」について作文を書きました。みんなが義務教育を受けられるようになって、安全で平和な社会になればいいなと思います。

大桐小学校3年 磯田 怜那さん

授業でSDGsについて学び、平和の大切さを知りました。作文のテーマでもある「戦争を少しでも減らすために」できることから取り組みたいです。

大隅東小学校6年 毛笠 実咲さん

人権作文 優秀作品

- 小学校 低学年の部
『いのち』『火の海大阪をみて』『べん強ができる大切さ』
小学校 高学年の部
『「平和って、どんなこと」を読んで』『戦争を少しでも減らすために』『日本人と外国人』
中学生の部
『いじめとポジティブ行動支援』『普通とは』『平和への一步』

人権標語 優秀作品

- 小学校 低学年の部
一人じゃない ささえてくれる ひとがいる
みんながいて わたしの命が あたたまる
きみがね 生きていることが しあわせだ
小学校 高学年の部
この色は みんなとちがう いい個性
生きる価値 それはみんなが 一緒だよ
十人十色おかしくないよ その個性
中学生の部
その個性 内に秘めず 堂々と
「やめなよ」と いったきみは ぼくのヒーロー
「ありがとう」その一言で 笑顔咲く

人権に関する問題についての相談は

大阪市人権啓発・相談センターへ

相談専用電話

06-6532-7830

電話のほか、面談・電子メール・ファックスなどでも相談できます。

FAX 06-6531-0666



メールはこちら

2025 “心に人権の花を” 第41回 東淀川区民のつどい

開催レポート

東淀川区では、1983(昭和58)年11月3日「世界人権宣言」35周年を記念し、人権をテーマとした第1回の催し「人権を考える区民のつどい」を開催しました。以降、毎年11月3日を東淀川区の「人権の日」と定め、人権について考え、理解を深める「区民のつどい」を毎年開催しています。

第41回となる今回は、柴島高校による和太鼓の演奏で幕を開け、さまざまな団体による舞台発表が行われました。その後、映画「かば」の上映も行いました。この映画は、バブル景気を迎えた大阪市内を舞台に、過酷な環境の中でたくましく自分たちの生き方を模索する子どもたちと向き合った実在の教師の生き方を描いた物語です。

東淀川区は、これからも同和問題をはじめとするさまざまな人権課題の解決に向け、人権啓発の取組を進めるとともに、人権尊重の理念のもと、人にやさしい、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

地域 1階9番 06-4809-9734



たんぽぽ楽団



柴島高校 和太鼓部



東淀川支援学校 ダンスチーム



東淀川支援学校 合唱チーム



手話サークルほたる

東淀川区の人権についての取組

詳しくはこちら▶

区内小・中学校の人権作文・人権標語作品集も掲載予定です!

